

令和5年度採用 中学校専門 家庭科

志願種別	
受験番号	

【11】 次のア～オの文章のうち、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編（平成29年7月 文部科学省） 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 C 消費生活・環境」に記載された内容として正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

- ア 支払い方法の特徴については、支払い時期（前払い、即時払い、後払い）の違いによる特徴が分かるようにするとともに、クレジットカードによる二者間契約を取り上げ、三者間契約と比較しながら利点と問題点について理解できるようにする。
- イ インターネットの普及やキャッシュレス化の進行により、目に見えないところで複雑な問題に巻き込まれやすくなることや、被害が拡大しやすいこと、被害者の低年齢化により、中学生も被害者になりやすいことに触れるようにする。
- ウ 消費者の基本的な権利と責任については、消費者基本法の趣旨を踏まえ、その内容を具体的に理解できるようにする。（中略）また、消費者が、購入した物資・サービスに不具合があったり、被害にあったりした場合に、そのことについて適切に主張し行動する責任を果たすことなどが、消費者被害の拡大を防ぐことについて気付くようにする。
- エ 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響については、物資・サービスの購入から使用までの自分や家族の消費行動が、環境への負荷を軽減させたり、企業への働きかけとなって商品の改善につながったりすることなどを理解できるようにする。
- オ 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理については、選択のための意思決定に必要な安全性、機能、価格、環境への配慮、アフターサービス等の観点について理解できるようにするとともに、関連する品質表示や成分表示、各種マークについても触れるようにする。

① ア ・ イ ・ ウ

② ア ・ エ ・ オ

③ イ ・ エ ・ オ

④ イ ・ ウ ・ オ

⑤ ア ・ ウ ・ エ

- 【12】 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編（平成29年7月 文部科学省） 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 B 衣食住の生活 衣生活」の一部である。（a）～（d）に当てはまる言葉の組合せとして正しいものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

今回の改訂では、小学校と中学校の内容の系統性を図り、小・中学校ともに「生活を豊かにするための布を用いた製作」を扱い、製作における基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、生活を豊かにしようとする態度の育成につなげることを意図している。中学校においては、（a）や環境に配慮する視点から、衣服等の（b）の方法についても触れることとしている。（中略）

また、衣服の機能を取り上げる際には、「A家族・家庭生活」の（1）の家族・家庭の基本的な機能と関連させ、健康・快適・（c）、（d）の継承などの視点から考えることが大切であることに気付くようにする。

さらに、道徳科など他教科等の学習と関連を図るために、指導の時期等についても配慮する。

	a	b	c	d
①	資源	購入	工夫	伝統文化
②	資源	再利用	安全	生活文化
③	経済	再利用	工夫	生活文化
④	資源	購入	安全	伝統文化
⑤	経済	購入	安全	生活文化

【13】 次の(ア)～(オ)の文章のうち、被服製作の基本について述べたものとして、正しいものを○、誤りのあるものを×としたとき、○、×の正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

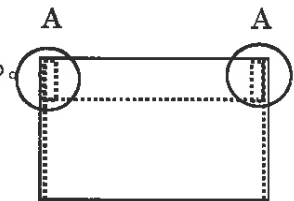
(ア) 布に型紙を置くとき、型紙の布目線と布の耳が直角になるように配置する。

(イ) まち針は、できあがり線に対して平行に打つ。

(ウ) ミシンで直角に縫う際、角に針がきたら布に針を刺したままミシンを止め、押さえを上げ、針を軸にして布を90度回す。

(エ) ミシンで縫う前に、しつけ糸で、できあがり線の約0.1cm外側を、1～1.5cmの大きな針目でしつけ縫いをする。

(オ) ポケット口を右図のAのように縫うとほつれにくく、丈夫になる。



	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	×	○	○
②	○	×	×	○	×
③	×	×	○	○	○
④	×	○	×	×	○
⑤	○	×	○	×	×

【14】 次の表の①～④のうち、繊維製品のリサイクルの方法に関する用語とその説明の組合せとして誤りのあるものを一つ選べ。

	用語	説明
①	ケミカルリサイクル	回収した衣料をもとの原料に戻し、再度原料とする循環型システムのこと。
②	アップサイクル	焼却して発電などに利用すること。
③	マテリアルリサイクル	材料のままで利用するリサイクルの方法のこと。
④	リペア	修理して長く使うこと。

【15】 子どもの権利を守るための法令等の記述の一部（ア）～（ウ）と、その名称A～Cの組合せとして適切なものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

（ア） 締約国は、その管轄の下にある児童に対し、児童又はその父母若しくは法定保護者の人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治的意見その他の意見、国民的、種族的若しくは社会的出身、財産、心身障害、出生又は他の地位にかかわらず、いかなる差別もなしにこの条約に定める権利を尊重し、及び確保する。

（イ） 全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。

（ウ） 児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。

A 子どもの権利条約

B 児童福祉法

C 児童憲章

	(ア)	(イ)	(ウ)
①	C	A	B
②	A	C	B
③	C	B	A
④	A	B	C
⑤	B	A	C

【16】 平成30年6月に、民法の定める成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が成立し、令和4年4月1日から施行された。次の（ア）～（オ）のうち、成年年齢の引き下げによって、18歳でも親の同意なしで契約できることはいくつあるか。下記の①～⑤の中から一つ選べ。

（ア） 携帯電話の契約をする。

（イ） 一人暮らしのためのアパートを借りる。

（ウ） ローンを組んで車を買う。

（エ） クレジットカードをつくる。

（オ） 消費者金融でお金を借りる。

① 1 つ

② 2 つ

③ 3 つ

④ 4 つ

⑤ 5 つ

【17】 次の①～⑤の文章のうち、幼児の心身の発達について述べたものとして適切でないものを一つ選べ。

- ① 幼児の体や運動機能の発達には、一定の方向と順序があり、その発達には個人差がある。
- ② 幼児は成人と比べて呼吸数、脈拍数が多い。また、体温が高く、体温を調節する機能が未熟で汗をかきにくい。
- ③ 認知能力の発達は生後間もなく始まり、視野が広がるとともに、周囲の状況を見て適切な行動ができるようになる。
- ④ 3、4歳頃までの間に、大人の持っている情緒がほぼ現れてくる。年齢が低いほど率直で激しい情緒の表現も、心の発達とともに安定する。
- ⑤ 家族や周りの人との温かい触れ合いを通して育まれた愛情や信頼感を基に、友達と相互に関わる遊びの中で自己主張したり、我慢したり、人を思いやったりすることを通して、社会性を身に付けていく。

【18】 次の文章は、地震などの災害への備えについて説明したものである。ア～オの文章のうち、正しいものはいくつあるか。下記の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 背の高い棚は、倒れないように天井と棚の隙間に突っ張り棒を設置する。

イ 逃げ道を塞がないように出入り口の近くに家具や物を置かない。

ウ 避難用のスニーカーと非常用持ち出し袋を置いておく。

エ 事前に地域の情報を調べ、災害が起きたときの避難方法や避難場所などを確認しておく。

オ 地震の二次災害として発生する通電火災などにも注意をしておく必要がある。

① 1 つ ② 2 つ ③ 3 つ ④ 4 つ ⑤ 5 つ

- 【19】 次の表のア～オのうち、環境に関するラベルとその説明の組合せとして、正しいものを○、誤りのあるものを×としたとき、○、×の正しい組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

	環境ラベル	説明
ア	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	商品やサービスの原材料調達から、廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を、二酸化炭素に換算して表示している。
イ	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	省エネ法に基づき、小売事業者が省エネ性能の評価や省エネラベル等を表示する制度。それぞれの製品区分における当該製品の省エネ性能の位置づけ等を表示している。
ウ	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	適切に管理された森林資源を使用した商品（紙製品など）であることを表示している。
エ	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	原料が生産されてから、輸出入、加工、製造工程を経て「国際フェアトレード認証製品」として完成品となるまでの各工程で、国際フェアトレード基準が守られていることを表示している。
オ	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	生産から廃棄までの、ライフサイクル全体を通して、環境保全に資する商品であることを表示している。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	○	○	×
②	○	×	○	○	×
③	×	×	×	○	○
④	○	×	○	×	×
⑤	○	○	×	×	○

【20】 次の表は、繊維の種類と、それらの手入れに関する性質を表したものである。手入れに関する性質について、誤りのあるものは①～⑤のどれか、一つ選べ。

	繊維の種類	手入れに関する性質				その他の特徴
		適する洗剤の液性	ぬれたときの強度	防しわ性	アイロンの温度	
①	綿	弱アルカリ性	◎	△	高	洗濯に強い 水をよく吸う しわになる
②	毛	中性	○	◎	中	水の中でもむと縮む 虫の害を受ける
③	絹	中性	△	○	中	摩擦に弱い 虫の害を受ける
④	アクリル	弱アルカリ性	◎	◎	高	再汚染しやすい ぬれても縮まない 乾きやすく、しわにならない
⑤	ナイロン	弱アルカリ性	◎	◎	低	ぬれても縮まない じょうぶで軽い 弾力性がある

【21】 次の表の①～⑤のうち、食に関する用語とその説明の組合せとして誤りのあるものを一つ選べ。

	用語	説明
①	HACCP	食品に関係する企業では、食中毒予防のために、原料から製品までの工程を衛生管理するこのシステムが導入されている。
②	食品添加物	保存料、甘味料、着色料、香料など、食品の製造過程または食品の加工・保存の目的で使用されるもの。原則として、厚生労働大臣の指定を受けた添加物（指定添加物）だけを使用できる。
③	フード・マイレージ	食料や畜産物を輸入する消費国が、自国でそれらを生産すると仮定したときに、どれだけの水が必要となるのか、その量を推定したものである。
④	遺伝子組換え食品	他の生物から有用な性質を持つ遺伝子を取り出し、その性質を持たせたい植物などに組み込む技術を利用して作られた食品である。
⑤	地産地消	地元で生産された食料を、その地域で消費すること。生産地と消費地が近いので、輸送のためのエネルギーやコストが削減できる。

【22】 次の資料は、さばのみそ煮の1人分の材料と分量を示したものである。35人分の材料を準備するとき、「しょうが」「しょうゆ」「みそ」は、それぞれ何g準備するとよいか。正しい組合せを下記の①～⑤の中から一つ選べ。

ただし、しょうがの廃棄率は20%とし、小数第1位は四捨五入すること。

材料と分量 (1人分)	
・さば	一切れ (80~100g)
・ねぎ	50g
・しょうが	5g
・水	50ml
・みりん	大さじ2強
・しょうゆ	小さじ1
・みそ	大さじ1

	準備するしょうがの重量 (g)	準備するしょうゆの重量 (g)	準備するみその重量 (g)
①	219	210	630
②	210	210	525
③	210	175	630
④	210	175	525
⑤	219	210	525

【23】 次の①～⑤の文章のうち、かれいの煮付けを作る際の調理の手順や工夫について、下線部が適切でないものを一つ選べ。

- ① 魚の臭みを抑えるために、しょうがなどを煮汁に入れ、一緒に煮るとよい。
- ② 盛り付けるときに表になる面を下にして煮た後、裏返すとよい。
- ③ 皮に切れ目を入れることで、加熱の際に皮を破れにくくする。
- ④ 身がくずれやすいので、少量の煮汁で煮たり、落し蓋を使用したりするとよい。
- ⑤ 沸騰した煮汁に魚を入れることで表面を固め、うま味を閉じ込める。

【24】 次の表は、「学校環境衛生基準 第1 教室等の環境に係る学校環境衛生基準（文部科学省）」の記載内容をまとめたものである。次の（ a ）～（ e ）に当てはまる言葉や数字の組合せとして、適切なものを下記の①～⑤の中から一つ選べ。

	検査項目	基準
換気及び保温等	換気	換気の基準として、二酸化炭素は、1500ppm以下であることが望ましい。
	温度	（ a ）であることが望ましい。
	一酸化炭素	（ b ）ppm以下であること。
採光及び照明	照度	（ア）教室及びそれに準ずる場所の照度の下限値は、（ c ）lx（ルクス）とする。また、教室及び黒板の照度は、500lx以上であることが望ましい。 [略] （ウ）コンピュータを使用する教室等の（ d ）の照度は、500～1000lx程度が望ましい。 [略]
騒音	騒音レベル	教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときはLAeq 50dB（デシベル）以下、窓を開けているときはLAeq（ e ）dB以下であることが望ましい。

	a	b	c	d	e
①	17℃以上, 30℃以下	10	100	黒板	55
②	18℃以上, 28℃以下	6	300	机上	55
③	17℃以上, 30℃以下	10	300	黒板	65
④	17℃以上, 30℃以下	6	100	黒板	55
⑤	18℃以上, 28℃以下	10	300	机上	65

【25】 次の(ア)～(オ)の文章のうち、消費者を守る制度や法律などについて正しく説明したものの組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 電子契約法では、消費者と事業者の間の情報量・交渉力の格差を前提に、対等な契約を行うためのルールを定めている。消費者と契約者の間のすべての契約に適用される。
- (イ) 製造物責任法では、製造業者などがみずから製造、加工、輸入などにより引き渡した製造物の欠陥により、生命、身体または財産を侵害したときは、過失の有無にかかわらず、生じた損害を賠償する責任があるとしている。
- (ウ) 特定商取引法では、クーリング・オフ制度が利用できる期間を、訪問販売や電話勧誘販売においては8日間、連鎖販売取引（マルチ商法）では20日間と定めている。
- (エ) 消費者ホットラインの189番は、全国共通の電話番号である。地方公共団体が設置している身近な消費生活相談窓口に繋がる。
- (オ) JADMAマークは、日本通信販売協会の正会員である事業者が使うことのできるマークである。そのため、インターネットを使った取引では、消費者にとって信頼の目安となる。

- ① ア・イ・エ ② イ・ウ・オ
③ ア・ウ・エ ④ イ・エ・オ
⑤ ア・ウ・オ

kyosai-guild

令和5年度採用 解答表（中学校・家庭）

問題	【11】	【12】	【13】	【14】	【15】	【16】	【17】
正解	④	②	③	②	④	⑤	②

問題	【18】	【19】	【20】	【21】	【22】	【23】	【24】
正解	⑤	④	④	③	①	②	②

問題	【25】
正解	②

kyosai-guild